



平成26年度文化芸術振興費補助金（トップレベルの舞台芸術創造事業）

公益財団法人 三菱UFJ信託芸術文化財団助成公演

公益財団法人 朝日新聞文化財団助成公演

東京オペラ・プロデュース第95回定期公演  
東京オペラ・プロデュース設立40周年記念公演  
主催：東京オペラ・プロデュース合同会社  
協力：公益財団法人 新国立劇場運営財団

# オペラ シンデレラ

Opera "Cenerentola"

全3幕

イタリア語上演

字幕付

日本初演

■作曲

E.ヴォルフ・フェラーリ

Ermanno Wolf-Ferrari

■原作

シャルル・ペロー

Charles Perrault

■台本

M.P.パスクラート

Maria Pezzè Pascolato

設立40周年記念公演・第2弾。東京オペラ・プロデュース第95回定期公演は、世界で最も有名な童話「シンデレラ」を原作に使用したオペラを取り上げます。絢爛豪華なサクセス・ストーリーは観客の年齢層を選ばず、オペラ台本としての最高条件が整っている為、多くの作曲家が「シンデレラ」を題材にしてきました。特にロッシーニ、マスネ作曲の両作品が有名で、度々上演に接することができます。そこで当団では近代イタリア・ドイツオペラの貢献者ヴォルフ・フェラーリ(1876-1948)の作曲した「シンデレラ」の日本初演を企画致しました。彼の初出版とされるオペラであり、1900年にヴェネツィアにて初演されました。しかし、その当時のイタリアではヴェリズモ・オペラの全盛期、残念ながら上演は不評でした。その後、国を移し、ドイツ・ブレーメンで上演された際には大成功を収め、現在でも歌劇場の重要なレパートリーとしてラインナップされております。イタリアで失敗、ドイツでは成功と、全く逆の反響となってしまった背景には当事、ドイツオペラでは近代オペラへの様式移行が先に行われたことが筆頭に挙げられます。彼は、自らの前衛的な音楽に理解があるドイツを拠点として活動。その高い評価を得るきっかけとなった作品が今上演の「シンデレラ」であり、純粋に音の持つ美しさを追求し、反ヴェリズモ路線を歩んだ、近年最もフューチャーされる作曲家であります。このような企画が出せるオペラ団体は東京オペラ・プロデュースならではと確信しております。指揮には当団が育て上げた飯坂純、演出は、女性ならではの夢と希望の視線から優美な情景を築き上げてくれること間違いない太田麻衣子を起用いたします。皆様、是非とも夢を観に劇場へお出かけ下さい！



指揮  
**飯坂 純**



演出・振付  
**太田 麻衣子**

7

[SAT]



シンデレラ  
鈴木 慶江



パッソ王子  
三村 卓也



宫廷道化師  
羽山 晃生



王  
岸本 力



王妃  
勝倉小百合



継母  
河野めぐみ



ピッティキーナ  
工藤 志州

8

[SUN]



シンデレラ  
菊地 美奈



パッソ王子  
星 洋二



宫廷道化師  
村田 孝高



王  
鹿野 章人



王妃  
菅原みづほ



継母  
田辺いづみ



ピッティキーナ  
岩崎由美恵



ヴァネレッラ  
小野さおり



ヴァネレッラ  
佐藤 りな



ヴァネレッラ  
溝呂木さきり



ヴァネレッラ  
末広貴美子



ヴァネレッラ  
白井 和之



ヴァネレッラ  
黒田 正雄



ヴァネレッラ  
笠井 仁



## 《上演会場》 新国立劇場 中劇場

〒151-0071

東京都渋谷区本町1-1-1

TEL: 03-5351-3011

新宿駅より京王新線

初台駅下車徒歩1分

東京オペラ・プロデュース第96回定期公演

## F.アルファーノ作曲 「復活」 “Risurrezione”

全4幕 イタリア語上演 字幕付 日本初演

指揮：飯坂 純 演出：馬場 紀雄

2015年7月11日(土)・12日(日) 両日15:00開演

新国立劇場 中劇場